

PRIMERGY オプション製品

システム構成図(留意事項編)

【2009年3月25日版】

サーバ監視ソフト ServerViewについて

サーバ監視ソフトServerViewでは以下のような機能があります。

[Windows Server® 2008/Windows Server® 2003 R2/Windows Server® 2003]

項目	ServerView
主な機能	サーバ状態監視 異常通知 電源投入/切断スケジュール(一部未サポートモデルあり) パフォーマンス監視 (CPU負荷率、メモリ利用率など)
アラート機能 (異常通知方法)	インターネットメール送信 SNMPトラップ送信 メッセージボックス(監視対象サーバ上、管理サーバ上) ポケベル プログラム起動 接続クライアントへブロードキャスト
リモートサービス機能のサポート	
使用メモリ	16～32MB

サーバ異常検出時のメッセージボックスは、サーバにログオンしていないと表示されません。
ログオンしていないときに発生した異常は、インターネットメール、SNMPトラップにて通知することができます。
また、イベントログにて発生を確認することができます。

[Red Hat Enterprise Linux/VMware®]

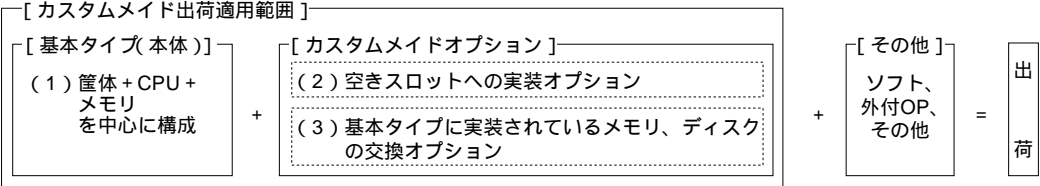
項目	Linuxサーバ上	監視用Windows端末
主な機能	サーバ状態監視 異常通知 * Web Extension/ ServerView S2使用による	サーバ状態監視 電源投入/切断 スケジュール運転設定 *モデルによる パフォーマンス監視 (CPU負荷率、メモリ利用率など) しきい値マネージャは使用できません。
アラート機能 (異常通知方法)	インターネットメール送信 SNMPトラップ送信	インターネットメール送信 SNMPトラップ送信 メッセージボックス ポケベル プログラム起動 接続クライアントへブロードキャスト
リモートサービス機能のサポート		-
使用メモリ	32MB以上	16～32MB

*LinuxサーバよりSNMPトラップを受信しての処理となる

カスタムメイド出荷について

カスタムメイド出荷とは、ハードウェアの標準構成をメモリ/ディスク等のオプションごとにお客様の仕様に合わせて追加/変更し、本体に実装して出荷することのできる形態です。
カスタムメイド出荷により、お客様のシステム規模/予算にあった最適なシステム構成での導入が可能となります。

1. カスタムメイド出荷対象製品の製品構成について
カスタムメイド出荷対象製品の製品構成は、「基本タイプ(本体)」と「カスタムメイドオプション」から構成されます(下図参照)。それ以外の製品に関しては、従来通り、製品単位で出荷されます。



[カスタムメイド適用製品一覧]

- (1) 基本タイプ(本体)
ECONEL 100 S2/TX120 S2/TX150 S6/TX300 S4/RX100 S5/RX200 S4/RX300 S4/RX600 S4/BX620 S4の全タイプが対象となります。
(TX300FT S4/TX300HA S4/オールインワンタイプを除く。)
- (2) カスタムメイドオプション：空きスロットへの実装オプション
PRIMERGY専用の内蔵オプションが対象となります。(注：FMVとの共通製品等を除く。)

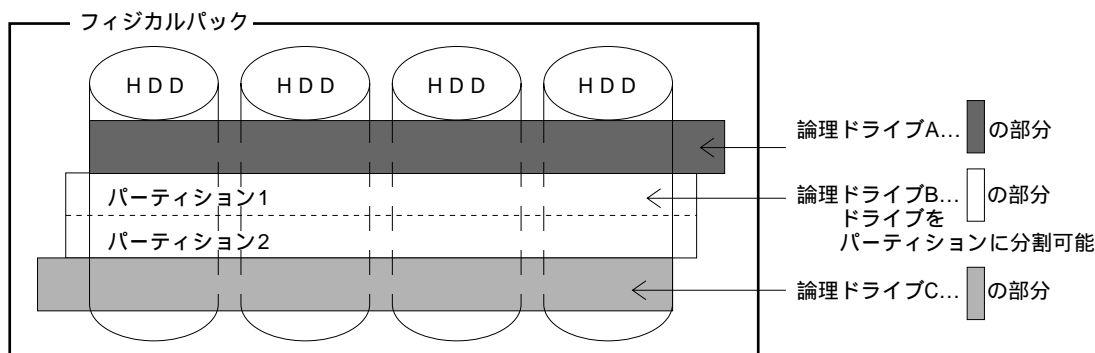
2. ディスクレスタイプにおけるカスタムメイド出荷について

ディスクレスタイプでOSをインストールする際には、予定外の装置に間違ってOSがインストールされることを事前に防ぐため、OSインストール先のハードディスク以外のオプション装置(ハードディスク、内蔵/外付バックアップ装置、光磁気ディスクユニット等)を一旦取り外し、OSインストール終了後に再接続する必要があります。カスタムメイド手配時にはご注意ください。

ハードディスク関連事項

ディスクアレイ構成の考え方

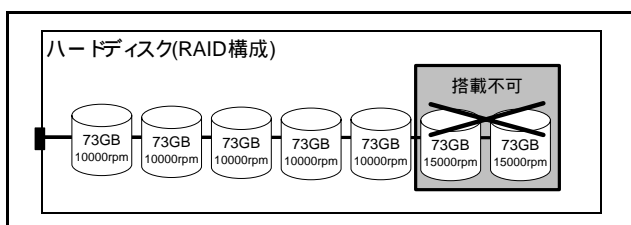
- ・フィジカルバック・・・1つのRAIDを構成する物理的なHDDの集まり。
- ・論理ドライブ・・・OSがドライブとして認識できるドライブ。
- ・パーティション・・・OSで設定する論理ドライブを分割したアクセス論理単位。



< 構成規則について >

- (1) フィジカルバックは必ず同じ型名のハードディスクユニットで構成してください。
- (2) ブート論理ドライブのサイズは2TB未満に設定してください。
論理ドライブの最大サイズは、インストールする各OSの制限に準じます。
- (3) 1つのフィジカルバックを構成するハードディスクユニットの台数は以下のとおりです。

・ RAID0	(性能向上のために、データを複数ディスクへ分割して書込む方式)	— 1 ~ 32台	[論理ドライブの実効データ容量は接続したディスク容量の総和]
・ RAID1	(信頼性向上のために、ディスクを二重化し同一データを書込む方式)	— 2台	[論理ドライブの実効データ容量は接続したディスク容量の1/2]
・ RAID1+0	(信頼性向上のために、データを二重化かつ分割して書込む方式)	— 4 ~ 32台 (偶数台のみ構成可能)	[論理ドライブの実効データ容量は接続したディスク容量の1/2]
・ RAID5	(信頼性向上のために、データを分割しパリティを加えて書込む方式)	— 3 ~ 32台	[論理ドライブの実効データ容量は (接続したディスク台数 - 1) 台分]
・ RAID6	(信頼性向上のために、データを分割し2つのパリティを加えて書込む方式)	— 3 ~ 32台	[論理ドライブの実効データ容量は (接続したディスク台数 - 2) 台分]
- (4) 1つのフィジカルバックを複数の論理ドライブに分割した場合の各論理ドライブのRAIDレベルは同じものしか設定できません。
- (5) 1つのフィジカルバックは必ず、同一のアレイコントローラにつながるハードディスクで構成してください。
- (6) 1つのアレイコントローラで複数のフィジカルバックを設定することが可能です。但し、ハードディスクユニットは以下の条件を満たす必要があります。
 - ・ フィジカルバックは同型名のハードディスクで構成する。
 - ・ 複数のフィジカルバックを同容量のハードディスクで構成する場合は、すべて同型名のハードディスクで構成する。
- (7) 1つのアレイコントローラで複数の異なるRAIDレベルの設定が可能です。但し、以下の条件を満たす必要があります。
 - ・ 同一フィジカルバック内の論理ドライブは同一のRAIDレベルとする必要があります。
 - ・ 1つのフィジカルバック内には複数の論理ドライブが作成できます。(最大8個)
- (8) ホットスベアディスクはフィジカルバック中に接続されている同型名のハードディスクで設定して下さい。
- (9) 異なるハードディスクを使用した複数のフィジカルバックが存在する場合にホットスベアディスクを設定する場合は、各々のフィジカルバックに対して同型名のホットスベアディスクを最低1台設定して下さい。
- (10) 1つのアレイコントローラ内で、同容量でかつ回転数の異なるハードディスクを混在させることはできません。



ハードディスクキャビネット / SASアレイコントローラカード / SCSIカード / SASカードの注意事項

ハードディスクキャビネットについて

OSは必ずサーバ本体内部ハードディスクにインストールする必要があります。

SASアレイコントローラカード[RX600 S4標準搭載]について

SASアレイコントローラカードに接続可能なハードディスクはサーバ本体内部ハードディスクのみです。

RAID0/1/5/6において、フィジカルバックに論理ドライブが1つだけ存在する場合のみフィジカルバックの容量拡張機能が使用可能です。
(Windows Server® 2008/Windows Server® 2003 R2 x64 Editions/Windows Server® 2003 R2/Windows Server® 2003 x64 Editions/Windows Server® 2003において、パーティションスタイルがMBRの場合のみサポート)

SASアレイコントローラカード[RX300 S4標準搭載]について

ハードディスクベイに搭載したハードディスクに接続するカードは1枚です。

RAID0/1/5/6において、フィジカルバックに論理ドライブが1つだけ存在する場合のみフィジカルバックの容量拡張機能が使用可能です。
(Windows Server® 2008/Windows Server® 2003 R2 x64 Editions/Windows Server® 2003 R2/Windows Server® 2003 x64 Editions/Windows Server® 2003のみサポート)

オンボードSASコントローラ[RX100 S5(SASモデル)/BX620 S4標準搭載]について

オンボードSASコントローラに接続可能なハードディスクはサーバ本体内部ハードディスクのみです。

オンボードSASコントローラでRAIDを構成する場合は、同容量/同回転数のハードディスク2台のみ接続可能です。

オンボードSASコントローラで作成できる論理ドライブは1つのみです。

オンボードSATAコントローラ[ECONEL 100 S2/TX150 S6(SATAモデル)/RX100 S5(SATAモデル)//RX200 S4(SATAモデル)標準搭載]について

オンボードSATAコントローラに接続可能なハードディスクは内蔵ハードディスクのみです。

オンボードSATAコントローラでRAIDを構成する場合は、RAID1を2セットまで構成可能です。

SASコントローラカード[TX120 S2/TX150 S6(SASモデル)/TX300 S4/RX200 S4(3.5インチSASモデル/2.5インチSASモデル)標準搭載]

接続可能なハードディスクは、サーバ本体内部ハードディスク4台までです。

RAIDを構成する場合は、ハードディスク2台までです。

SASコントローラカードで作成できる論理ドライブは1つのみです。

SASアレイコントローラカード[PG-248B/PG-248B1/PG-248BC/PG-248C/PG-248CL/PG-248C1]について

ハードディスクベイに搭載したハードディスクに接続するカードは1枚です。

RAID0/1/5/6において、フィジカルバックに論理ドライブが1つだけ存在する場合のみフィジカルバックの容量拡張機能が使用可能です。
(Windows Server® 2008/Windows Server® 2003 R2 x64 Editions/Windows Server® 2003 R2/Windows Server® 2003 x64 Editions/Windows Server® 2003において、パーティションスタイルがMBRの場合のみサポート)

SASアレイコントローラカード[PG-248G/PG-248G1/PG-248G1L/PG-248G2L]

PRIMERGY SX35接続用のカードです。

RAID0/1/5/6において、フィジカルバックに論理ドライブが1つだけ存在する場合のみフィジカルバックの容量拡張機能が使用可能です。
(Windows Server® 2008/Windows Server® 2003 R2 x64 Editions/Windows Server® 2003 R2/Windows Server® 2003 x64 Editions/Windows Server® 2003において、パーティションスタイルがMBRの場合のみサポート)

1枚のカードでSX35を2台まで接続可能です。

SASアレイコントローラカード[PG-248EL/PG-248FL/PG-248GL]

PRIMERGY SX650 ストレージブレード接続用カードです。

RAID0/1/5/6において、フィジカルバックに論理ドライブが1つだけ存在する場合のみフィジカルバックの容量拡張機能が使用可能です。
(Windows Server® 2008/Windows Server® 2003 R2 x64 Editions/Windows Server® 2003 R2/Windows Server® 2003 x64 Editions/Windows Server® 2003において、パーティションスタイルがMBRの場合のみサポート)

消耗品の扱いについて

以下のアレイコントローラに搭載されているバッテリーは消耗品となります。

寿命の際は、お客様による手配交換となりますのでご注意ください。

本寿命は温度環境が25 の場合であり、温度環境によって寿命は変動いたします。

RAS支援サービスによる事前予告が通知された場合、6ヶ月以内に交換をお願いいたします。

消耗品(バッテリー)搭載アレイコントローラカード

	型名	寿命
SASアレイコントローラカード	PG-248C / PG-248C1 / PG-248CL / PGB2U48C / PGB2U48CL / PGB2U48C1 / PGB2U48C2	約3年
SASアレイコントローラカード (RX600 S4標準搭載品)	-	約3年
SASアレイコントローラカード	PG-248G / PG-248G1L / PG-248G2L / PGB248G / PGB248G1L / PGB248G2L	約3年
SASアレイコントローラカード	PG-248GL / PG-248G1 / PGB248GL / PGB248G1	約3年

交換用バッテリー

品名	型名
バッテリーバックアップユニット	PG-BBU1
バッテリーバックアップユニット	PG-BBU3
バッテリーバックアップユニット	PG-BBU4
バッテリーバックアップユニット	PG-BBU5



システム構成図留意事項

SCSIカード[PG-1301L/PG-2281/PG-2281L]について

本カード 1 枚に外付SCSI装置と内蔵SCSI装置を同時に接続することはできません。
その際は、カードを分けて接続してください。

SASカード[PG-228B/PG-228BL/PG-224B]について

本カード 1 枚に外付SAS装置と内蔵SAS装置を同時に接続することはできません。
その際は、カードを分けて接続してください。

接続可能なハードディスクキャビネット数について

ハードディスクキャビネット		ECONEL 100 S2	TX120 S2	TX150 S6	TX300 S4	RX100 S5	RX200 S4	RX300 S4	RX600 S4	BX620 S4
	型名									
PRIMERGY SX35 (SAS)	PG-R2DC2	-	-	-	4	-	2	2	4	-

メモリ関連事項

OSにおける使用可能メモリ容量について

OSにより使用可能なメモリ容量が異なりますので、ご注意ください。使用可能メモリ容量は以下の通りです。
(搭載可能なメモリ容量およびサポートOSは機種により異なります。)

OS	使用可能メモリ容量
Windows Server® 2008 Standard (32-bit)	4GB (*1) (*2)
Windows Server® 2008 Enterprise (32-bit)	64GB
Windows Server® 2008 Standard (64-bit)	32GB (*2)
Windows Server® 2008 Enterprise (64-bit)	2TB
Windows Server® 2008 Datacenter (64-bit)	2TB
Windows Server® 2003 R2, Standard Edition	4GB (*1) (*2)
Windows Server® 2003 R2, Enterprise Edition	64GB (*3)
Windows Server® 2003 R2, Standard x64 Edition	32GB (*2)
Windows Server® 2003 R2, Enterprise x64 Edition	1TB
Windows Server® 2003, Standard Edition	4GB
Windows Server® 2003, Enterprise Edition (SP1以降)	64GB (*3)
Windows Server® 2003, Standard x64 Edition	32GB
Windows Server® 2003, Enterprise x64 Edition	1TB
Windows® Small Business Server 2003 R2 Standard Edition	4GB
Windows® Small Business Server 2003 Standard Edition	4GB
Red Hat Enterprise Linux ES (v.4 for x86)	12GB (*4)
Red Hat Enterprise Linux AS (v.4 for x86)	12GB
Red Hat Enterprise Linux 5 (for x86)	12GB (*4)
Red Hat Enterprise Linux ES (v.4 for EM64T)	16GB
Red Hat Enterprise Linux AS (v.4 for EM64T)	128GB
Red Hat Enterprise Linux 5 (for Intel64)	128GB
VMware® Infrastructure 3 Version 3.0	64GB
VMware® Infrastructure 3 Version 3.5	128GB
VMware® ESXi 3.5	48GB

(*1) Windows Server® 2008 Standard (32-bit)/ Windows Server® 2003 R2, Standard Editionがインストールされているタイプに、カスタムメイドにて増設可能なメモリは4GBまでです。
※基本Windows OS変換機構 (System Center Virtual Machine Manager 2008)[PGBSUW10]適用時は32GBまで増設可能です。

(*2) インストールされているOSがなく、Windows Server® 2008 Standard/ Windows Server® 2003 R2, Standard Edition/ Windows Server® 2003 R2, Standard x64 Editionがバンドルされているタイプに、カスタムメイドにて増設可能なメモリは32GBまでです。

(*3) PRIMERGY RX600 S4においては、62GBまでのサポートとなります。

(*4) Red Hat Enterprise Linux ES (v.4 for x86)/ Red Hat Enterprise Linux 5 (for x86)がインストールされているタイプに、カスタムメイドにて増設可能なメモリは12GBまでです。

バックアップ装置関連事項

バックアップ装置のサポートOSと使用するソフトウェア一覧

< Windows関連 >

バックアップ装置	装置型名	規格	記憶容量 (GB)	処理速度 (MB/s)	Windows Server® 2008 Standard (32-bit) /Enterprise (32-bit) / Standard (64-bit) /Enterprise (64-bit) / Datacenter (64-bit)			Windows Server® 2003 R2, Standard Edition /Enterprise Edition / Standard x64 Edition /Enterprise x64 Edition			備考
					Windows Server Backup	CA ARCserve® Backup r12	BrightStor™ ARCserve® Backup r11.5	NTBACKUP	CA ARCserve® Backup r12	BrightStor™ ARCserve® Backup r11.5	
RDX 装置	PG-RD102 PG-RD1021 PG-RD1022	RDX	40 160	16	x	○	x	○	○	○	・メンテナンスフリー
LTO 装置	PG-LT102 PGBLT102C	LTO (Ultrium1)	100	16	x	○	x	Server Start	○	○	・高信頼性が必要な基幹業務に適している
	PG-LT201 PGBLT201C1	LTO2 (Ultrium2)	200	24	x	○	x	Server Start	○	○	
	PG-LT302 PGBLT302C	LTO3 (Ultrium3)	400	64	x	○	x	Server Start	○	○	
	PG-LT401 PGBLT401C	LTO4 (Ultrium4)	800	114	x	○	x	Server Start	○	○	・高信頼性が必要な基幹業務に適している ・自動バックアップ処理可能
	LT20MSD1 LT21MLD1 LT22MLD1	LTO3 (ハーフハイト) ライブラリ	3600/ 3200/ 6400	60	x	○	x	x	○	x	
	LT23M*C1	LTO3 (フルハイト) ライブラリ	16000	80	x	○	x	x	○	○	
	LT20MSG1	LTO4 (ハーフハイト) ライブラリ	7200	120	x	○	x	x	○	x	
	LT22MLE1/ LT23MFE1	LTO4 (フルハイト) ライブラリ	12800/ 32000	120	x	○	x	x	○	○	
DAT 装置	PG-DT501	DAT72	36	3.0	x		x	Server Start	○	○	・定期的なクリーニング必須
	PG-DT504				x	Server Start	x	Server Start	Server Start	Server Start	
	PG-DT5041				x	Server Start	x	Server Start	Server Start	Server Start	
	PG-DT5043				x	Server Start	x	Server Start	Server Start	Server Start	
	PG-DT504D				x	Server Start	x	Server Start	Server Start	Server Start	
	PG-DT5045				x	Server Start	x	Server Start	Server Start	Server Start	

バックアップ装置	装置型名	規格	記憶容量 (GB)	処理速度 (MB/s)	Windows Server® 2003, Standard Edition /Enterprise Edition / Standard x64 Edition /Enterprise x64 Edition			Windows® Small Business Server 2003	Windows® Small Business Server 2003 R2	備考
					NTBACKUP	CA ARCserve® Backup r12	BrightStor™ ARCserve® Backup r11.5	NTBACKUP	NTBACKUP	
RDX 装置	PG-RD102 PG-RD1021 PG-RD1022	RDX	40 160	16	○	○	○	○	○	・メンテナンスフリー
LTO 装置	PG-LT102 PGBLT102C	LTO (Ultrium1)	100	16	Server Start	○	○	Server Start	Server Start	・高信頼性が必要な基幹業務に適している
	PG-LT201 PGBLT201C1	LTO2 (Ultrium2)	200	24	Server Start	○	○	Server Start	Server Start	
	PG-LT302 PGBLT302C	LTO3 (Ultrium3)	400	64	Server Start	○	○	Server Start	Server Start	
	PG-LT401 PGBLT401C	LTO4 (Ultrium4)	800	114	Server Start	○	○	Server Start	Server Start	・高信頼性が必要な基幹業務に適している ・自動バックアップ処理可能
	LT20MSD1 LT21MLD1 LT22MLD1	LTO3 (ハーフハイト) ライブラリ	3600/ 3200/ 6400	60	x	○	x	x	x	
	LT23M*C1	LTO3 (フルハイト) ライブラリ	16000	80	x	○	○	x	x	
	LT20MSG1	LTO4 (ハーフハイト) ライブラリ	7200	120	x	○	x	x	x	
	LT22MLE1/ LT23MFE1	LTO4 (フルハイト) ライブラリ	12800/ 32000	120	x	○	○	x	x	
DAT 装置	PG-DT501	DAT72	36	3.0	Server Start	○	○	Server Start	Server Start	・定期的なクリーニング必須
	PG-DT504				Server Start	Server Start	Server Start	x	x	
	PG-DT5041				Server Start	Server Start	Server Start	x	x	
	PG-DT5043				Server Start	Server Start	Server Start	x	x	
	PG-DT504D				Server Start	Server Start	Server Start	x	x	
	PG-DT5045				Server Start	Server Start	Server Start	x	x	

記録容量/処理速度は非圧縮時の値。

NTBACKUPでバックアップした場合、各装置の処理速度よりも遅くなる場合があります。処理性能を重視される場合にはARCserveの使用をお勧めします。

ETERMUS LT230(LT23*LC1)(SCSIモデル)をCA ARCserve/BrightStor ARCserveで使用する場合はTape Library Optionが必要です。

ETERMUS LT230(LT23*F1)(FCモデル)をCA ARCserve/BrightStor ARCserveで使用する場合はStorage Area Network (SAN) Optionが必要です。

内蔵DAT72ユニット(PG-DT504/PG-DT5041/PG-DT5042/PG-DT504D)をBrightStor ARCserve r11.5で使用する場合は、SP1を適用する必要があります。

Windows Server® 2003 R2 / Windows Server® 2003 x64 EditionsでBrightStor ARCserve r11.5を使用する場合は、SP1を適用する必要があります。

「ServerStart」はServerStart CDまたは、PRIMERGY スタートアップディスク内のデバイスドライバを使用することを示します。

Windows Server® 2008のServer Core環境では未サポートです。

Windows Server® 2008のHyper-V機能を使用する場合、CA ARCserve Backup r12 for Windows-Japanese L10以降を使用する必要があります。

システム構成図留意事項

< Linux関連 >

バックアップ装置	装置型名	規格	記憶容量 (GB)	処理速度 (MB/s)	Red Hat Enterprise Linux						備考
					5 (for x86)		AS (v.4 for x86)		ES (v.4 for x86)		
					NetVault 8	NetVault 7	NetVault 8	NetVault 7	NetVault 8	NetVault 7	
RDX装置	PG-RD102 PG-RD1021 PG-RD1022	RDX	40 ↓ 160	16	x	x	x	x	x	x	・メンテナンスフリー ・tarなどのコマンドを使用
LTO装置	PG-LT102 PGBLT102C	LTO (Ultrium1)	100	16		○					・高信頼性が必要な基幹業務に適している
	PG-LT201 PGBLT201C1	LTO2 (Ultrium2)	200	24		○					
	PG-LT302 PGBLT302C	LTO3 (Ultrium3)	400	64		○					
	PG-LT401 PGBLT401C	LTO4 (Ultrium4)	800	114		x	x			x	
	LT20MSD1	LTO3 (ハーフハイト) ライブラリ	3600	60	x	x		x		x	
	LT20MSG1	LTO4 (ハーフハイト) ライブラリ	7200	120	x	x		x		x	
	LT21MLD1	LTO3 (ハーフハイト) ライブラリ	3200	60		○					
	LT22MLD1		6400			○					
	LT22MLE1	LTO4 (フルハイト) ライブラリ	12800	120		○					
	LT23M*C1	LTO3 (フルハイト) ライブラリ	16000	80		○					
LT23MFE1	LTO4 (フルハイト) ライブラリ	32000	120		x	○	x	○	x		
DAT装置	PG-DT501	DAT72	36	3.0		○					・定期的なクリーニング必須
	PG-DT504					○					
	PG-DT5041					○				x	
	PG-DT5043					○	○	x			
	PG-DT504D					○	○	○			
	PG-DT5045					○		x			

バックアップ装置	装置型名	規格	記録容量 (GB)	処理速度 (MB/s)	Red Hat Enterprise Linux						備考
					5 (for Intel64)		AS (v.4 for EM64T)		ES (v.4 for EM64T)		
					NetVault 8	NetVault 7	NetVault 8	NetVault 7	NetVault 8	NetVault 7	
RDX装置	PG-RD102 PG-RD1021 PG-RD1022	RDX	40 ↓ 160	16	x	x	x	x	x	x	・メンテナンスフリー ・tarなどのコマンドを使用
LTO装置	PG-LT102 PGBLT102C	LTO (Ultrium1)	100	16							・高信頼性が必要な基幹業務に適している
	PG-LT201 PGBLT201C1	LTO2 (Ultrium2)	200	24							
	PG-LT302 PGBLT302C	LTO3 (Ultrium3)	400	64							
	PG-LT401 PGBLT401C	LTO4 (Ultrium4)	800	114		x		x		x	
	LT20MSD1	LTO3 (ハーフハイト) ライブラリ	3600	60	x	x		x		x	・高信頼性が必要な基幹業務に適している ・自動バックアップ処理可能
	LT20MSG1	LTO4 (ハーフハイト) ライブラリ	7200	120	x	x		x		x	
	LT21MLD1	LTO3 (ハーフハイト) ライブラリ	3200	60							
	LT22MLD1		6400								
	LT22MLE1	LTO4 (フルハイト) ライブラリ	12800	120							
	LT23M*C1	LTO3 (フルハイト) ライブラリ	16000	80							
LT23MFE1	LTO4 (フルハイト) ライブラリ	32000	120		x	○	x	○	x		
DAT装置	PG-DT501	DAT72	36	3.0							・定期的なクリーニング必須
	PG-DT504										
	PG-DT5041									x	
	PG-DT5043					○	○	x			
	PG-DT504D						○	○			
	PG-DT5045							x			

記録容量/処理速度は非圧縮時の値。

Windows関連事項

Windows Server OSの使用権について

- ・ Windows Server 2008およびWindows Server 2003 R2のライセンスにはダウングレード権があります。
- ・ 旧バージョンのWindows Serve OSを購入されたお客様は、ライセンス製品の購入時にSoftware Assuranceも併せて購入した場合、契約有効期間内であれば最新バージョンのWindows Server OSを使用する権利があります。
- ・ Windows Server OSをダウングレードする場合は、同一エディション間でのみダウングレード可能となります。
例えば、Windows Server 2008, StandardをWindows Server 2003 R2へダウングレードする場合は、Windows Server 2003 R2, Standard Editionへのみダウングレード可能です。
- ・ Windows Server 2003 R2, Enterprise Editionへダウングレードすることはできません。
- ・ ダウングレード権を行使する場合、お客様がダウングレードして使用するバージョンのメディアを所有している必要があります。
(その際のメディアとプロダクトキーについては、他のPRIMERGYに添付されているメディア、もしくは正規に入手したボリュームライセンス用のメディアをご使用下さい。)

Windows Server® 2003 R2 プレインストールタイプのOSについて

Windows Server® 2003 R2, Standard Editionのライセンスを使用してWindows Server® 2003, Standard Edition、Windows Server® 2003 R2, Standard x64 Edition、あるいはWindows Server® 2003, Standard x64 Editionをインストールすることができます。
また、Windows Server® 2003 R2, Enterprise Editionのライセンスを利用して、Windows Server® 2003, Enterprise Edition、Windows Server® 2003 R2, Enterprise x64 Edition、あるいはWindows Server® 2003, Enterprise x64 Editionをインストールをする場合についても同様です。

Windows Server® 2003 R2, Standard x64 Editionのライセンスを使用してWindows Server® 2003, Standard x64 Edition、Windows Server® 2003, Standard Edition、あるいはWindows Server® 2003 R2, Standard Editionをインストールすることができます。
また、Windows Server® 2003 R2, Enterprise x64 Editionのライセンスを利用して、Windows Server® 2003, Enterprise x64 Edition、Windows Server® 2003, Enterprise Edition、あるいはWindows Server® 2003 R2, Enterprise Editionをインストールをする場合についても同様です。

Windows Server® 2008 プレインストール/バンドルタイプのOSについて

Windows Server® 2008 Standardのライセンスを使用してWindows Server® 2008 Standard (32-bit)、Windows Server® 2003 R2, Standard Edition、Windows Server® 2003, Standard Edition、あるいはWindows Server® 2008 Standard (64-bit)、Windows Server® 2003 R2, Standard x64 Edition、Windows Server® 2003, Standard x64 Editionをインストールすることができます。
また、Windows Server® 2008 Enterpriseのライセンスを使用してWindows Server® 2008 Enterprise (32-bit)、Windows Server® 2003 R2, Enterprise Edition、Windows Server® 2003, Enterprise Edition、あるいはWindows Server® 2008 Enterprise (64-bit)、Windows Server® 2003 R2, Enterprise x64 Edition、Windows Server® 2003, Enterprise x64 Editionをインストールをする場合についても同様です。

Windows Server® 2008/ Windows Server® 2003 R2 x64 EditionのOSインストールについて

標準でDVDドライブを搭載していないモデルにおいては、Windows Server® 2008 Standard (32-bit)、Windows Server® 2008 Enterprise (32-bit)、Windows Server® 2008 Standard (64-bit)、Windows Server® 2008 Enterprise (64-bit)、Windows Server® 2003 R2, Standard x64 Edition、Windows Server® 2003 R2, Enterprise x64 EditionのOSをインストールするために別途DVDドライブを手配する必要があります。

Linux関連事項

Linuxインストール代行サービスバンドルタイプについて

Linuxインストール代行サービスバンドルタイプでは、Linux OSをお客様に代わってインストールするサービス[インストール代行サービス]をPRIMERGYにバンドルして出荷いたします。

Linux OSの利用権について

- ・Linuxインストール代行サービスバンドルタイプでは、以下の範囲内でRed Hat Enterprise Linux のバージョンやアーキテクチャ [x86/EM64T(Intel64)]を変更することができます。
対象機種種のサポートOSの範囲内であれば、Linuxインストール代行サービスバンドルタイプに標準添付しているRed Hat Networkのサブスクリプションを利用して、インストールに必要なソフトウェアをダウンロードして利用することができます。
この場合再インストールが必要とはなりますが、変更後のOSにおいても標準添付のLinuxサポートや、SupportDeskパック（有償）のご利用が可能です。

Red Hat Enterprise Linux ESグループ

Red Hat Enterprise Linux 5 (for Intel64)
Red Hat Enterprise Linux 5 (for x86)
Red Hat Enterprise Linux ES (v.4 for EM64T)
Red Hat Enterprise Linux ES (v.4 for x86)

Linuxシステムにおけるメモリ搭載、ブロックデバイスの使用可能サイズについて

Linuxシステムではディストリビューションにより最大搭載メモリ容量、ブロックデバイスの使用可能最大サイズが以下のようになります。

ディストリビューション	最大搭載メモリ容量	ブロックデバイスの使用可能最大サイズ
Red Hat Enterprise Linux ES (v.4 for x86)	12GB	8TB未満 1
Red Hat Enterprise Linux AS (v.4 for x86)	12GB	8TB未満 1
Red Hat Enterprise Linux 5 (for x86)	12GB	8TB未満 1
Red Hat Enterprise Linux ES (v.4 for EM64T)	16GB	8TB未満 1
Red Hat Enterprise Linux AS (v.4 for EM64T)	128GB	8TB未満 1
Red Hat Enterprise Linux 5 (for Intel64)	128GB	8TB未満 1

- 1 システムボリュームとして使用する場合は、2TB以下でご使用ください。

ディスクレスタイプのサポートについて

ディスクレスタイプにおけるLinux関連情報については、弊社HP(<http://primeserver.fujitsu.com/primergy/software/linux/>)を参照下さい。

また、サポートを必要とされるお客様につきましては、サービス一覧の「保守サービスSupportDesk (Linux/OSS)」を参照ください。

サポート対象ディストリビューション()

- Red Hat Enterprise Linux ES (v.4 for x86)
- Red Hat Enterprise Linux AS (v.4 for x86)
- Red Hat Enterprise Linux 5 (for x86)
- Red Hat Enterprise Linux ES (v.4 for EM64T)
- Red Hat Enterprise Linux AS (v.4 for EM64T)
- Red Hat Enterprise Linux 5 (for Intel64)

サポートディストリビューションは、本体装置により異なります。

Linuxのサポート版数について

Linuxインストール代行サービスバンドルタイプのインストール版数、および弊社PRIMERGYにおいてサポート可能なLinuxのサポート版数については、弊社HP(<http://primeserver.fujitsu.com/primergy/software/linux/technical/support/kernel.html>)を参照下さい。

